

今回の参加者 是非交流を深めてくださいませ～。

- | | | | |
|---------------|---------------------------------|---------------------|-----------------|
| ・こーじー | HRIメンバー&はら塾カフェメンバー (ラスコとガーコの友達) | ・やすこちゃん | HRIメンバー (今回の会計) |
| ・めぐちゃん | はら塾カフェメンバー (人権WSのプロ) | ・さんてい | HRIメンバー (日本人) |
| ・大くん | はら塾カフェお助けメンバー (実はミュージシャン) | ・どんこさん | HRIメンバー (2児の母) |
| ・上ちゃん | こーじーのWSつながりのお友達 (芸大卒) | ・けい | HRIメンバー (歌手) |
| ・森下くん (もりりん) | 上ちゃんの後輩 (現役中央大生) | ※計10名です! | |
| ・清水さん (しーちゃん) | 上ちゃんの後輩 (現役芸大生) | ※けいとどんこさんは、29日帰りです。 | |

山田町側の主要な登場人物

- ・GOさん 今回の仕掛け人、ものすごい機動力
- ・今村さん 宿の主人。HRI代表野口の叔父
- ・糠森さん 幼稚園の先生。とても優しい

今回の全行程 ※4月27日は21時品川発の夜行バスで盛岡に向かいます。20時45分に乗り場集合をお願いします。
道中でかかる昼食代、最終日の観光代などは各自で負担していただきます。
宿：民宿 治郎兵衛家 TEL:0193-62-7150 <http://www.kankou385.jp/stay/minshuku/148.html>

4月28日

5:30 盛岡着～朝食
7:30 レンタカーで
盛岡を出発
10:00 宮古着
GOさんと合流
GOさんの事務所から
荷物をピックアップ (予定)
10:30 浜の見学など
12:00 会場入り 準備
18:00 地元の方と懇親会

4月29日

10:00～16:00で
フェスティバル開催

夜は地元の方と懇親会?
集合時間などは前日に決定

4月30日

10:00～16:00で
フェスティバル開催

16:00 撤収作業
17:00 荷物発送

夜は地元の方と打ち上げ

集合時間などは前日に決定

5月1日

9:30 チェックアウト

浄土ヶ浜観光&昼

道の駅みやこなどでお土産
湯ったり館で温泉
<http://travel.biglobe.ne.jp/onsen/spot/3000751.html>

15時頃盛岡へ向けて出発
18時代の新幹線で東京へ

はら塾カフェとその仲間たちが実施するWS一覧

- ①ひとふで似顔絵 親子版～毛糸で一筆書き～
メイン：大くん メンバー：けい（準備&初日のみ参加）
- ②にんげんコレクション～映像を使って親子で新発見～
メイン：上ちゃん メンバー：森下くん、清水さん
- ③妖怪「いすわり」～放射能と食べ物の関係～
メイン：サンティ メンバー：GO！さん、めぐ&こーじーが交代で
- ④バイバイお絵かき ～帰りのゲームコーナー～
メイン：やすこ メンバー：どんこさん（準備&初日のみ参加）

全体調整：めぐ

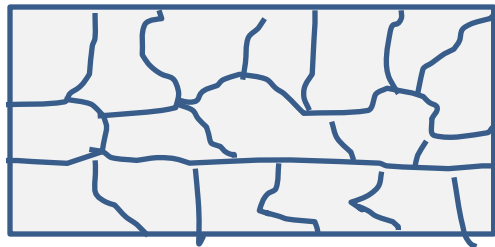
記録：こーじー

困ったときや、人手不足のときはめぐ&こじーが調整役で随時入ります。

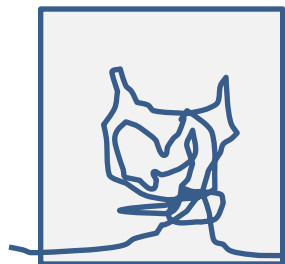
今回は街に活気が生まれるイベントをやりたい！というGOさんの想いを形にするお手伝いとなります。さまざまな団体が協力をしているので、いろいろなエッセンスが入っていますが先方の意思を重んじられればと思いますのでごった煮状態を楽しんでください。全ての企画にはら塾カフェがかかわっています。はら塾カフェは、ワークショップデザイナーのユニットです。<http://ameblo.jp/harajukucafe/>

①ひとふで似顔絵 親子版～毛糸で一筆書き～

概要：おなじみ、ひとふで似顔絵の親子版です。大きな白いキャンバス布をA4サイズ大に切って、そこでひとふでにがおえを親子でやってもらいます。基本は、お子さんが親の顔を描くという形で進めてもらいます。



使う布はこういう1ピース



はじまりとおわりが、左の図のようになっていると、となりのピースとつながろうとしている雰囲気。実際つながってなくてもOK!

※できあがった作品はデジカメで写真に収めてもらいます。

東京でピースをつなぎ合わせる写真加工をして参加者に写真を送る形が取ればとおもいます。

今回は、顔ということにこだわってみたいと思いますので顔意外に流れないように作って頂けたらと思います。

<準備>

1. 段ボールをスーパーからもらってきて机の上に敷く
2. 布をピースに切る（上記のようにあえて不揃いに）
3. 毛糸を籠に盛る
4. ボンド、はさみ、ホチキスを配置する

<当日の流れ>

1. 毛糸で親の似顔絵、友達同士の似顔絵を作る
コーナーだよ、と説明
2. 好きなピースを取ってもらう
3. 似顔絵作成
時間がなければボンドはこちらで止める
時間があればボンドまで止めてもらう

②親子で映画を作ろう！～映像を使って親子で新発見～

プログラムA:にんげんコレクション

概要：東京で撮って来た映像をマネして、人間のいろんなしぐさや行動をビデオで撮ってもらいます。まずはクイズ形式で、ぼやけた映像のなかで人が何をしているか、当ててもらいます。次に、それをマネした映像を撮ってもらいます。マネするためには、誰かに演じてもらったり、自分で演じたり、どうやったら実現できるか考えながらつくってもらおう。最後にみんなで映像を見て、さらに数十分後、スタッフが編集を加え、後で会場に来たら東京の映像と岩手の映像が並んで映写されているようにします。

プログラムB:カメラの前でパフォーマンス！

概要：スロモーションで撮られた映像を見てもらって、これも同じく東京で撮られた映像をマネしてつくってもらいます。どんな動きを撮れば、スロモーションの映像が楽しくつくれるか、考えながら撮ってもらいます。場合に寄って、外に出て走ったりジャンプしたりする映像を撮ります。その際はスタッフが付き添い、色つきの養生テープに名前を書いて身体に貼ってもらい、一瞥して映像WSの参加者だとわかるようにします。

<当日の流れ>

1. 受付をしてもらい。5～10人を対象に一回のワークショップを行う（一回1時間）
2. WS後、次のWSまでに編集を加え、できた映像をどんどん並べて映写していきます。（分割画面で東京と岩手を並べる）
3. 10:00～プログラムA、11:30～プログラムB、13:00～プログラムA、14:30～プログラムB

<会場の準備>：二台のプロジェクターを設置して、映写できるように白い壁か布を設置します。

*特典 応募用紙に住所と名前を書いて応募すれば、WSでできた映像をDVDにして、後日プレゼント！

③妖怪「いすわり」～放射能と食べ物の関係～

概要：協賛「豊かな三陸の海を守る会」による、放射能理解のコーナー。特に、食物から取り入れてしまう放射能に対する理解促進を図る。口から入った放射能は自然には消えない。できることは、酵素が多い食品を積極的に取って、いつも体の免疫を整えておくこと。この感覚をWS的に伝える。放射能の役割を妖怪「いすわり」が演じ、「いすわり」との対応を考えていく。妖怪「いすわり」はサンティが演じる。

①パネル展示（放射能に関するもの）を見ている親子1組をねらって妖怪「いすわり」がそばにひっそりとくっつきはじめる。「やだあ」と逃げてもぴっとりくっつく。

②サポートファシリテーターが籠を持って登場。「お母さんたち、あれは妖怪いすわりです。この中にいすわりが苦手な食べ物があります。いすわりのおなかのところにある籠にいすわりが苦手だと思う食べ物を入れて、助けてあげてください」

③いすわりの籠のなかに10個体によい食べ物が溜まったら、いすわりは「うわああああ」といいながら退散。

④まとめ役としてGOさん登場。いすわり=放射能であったこと、いつも免疫をあげておくために食べるものが大切であるという話をしてもらう。



妖怪いすわり
妄想図

<準備>

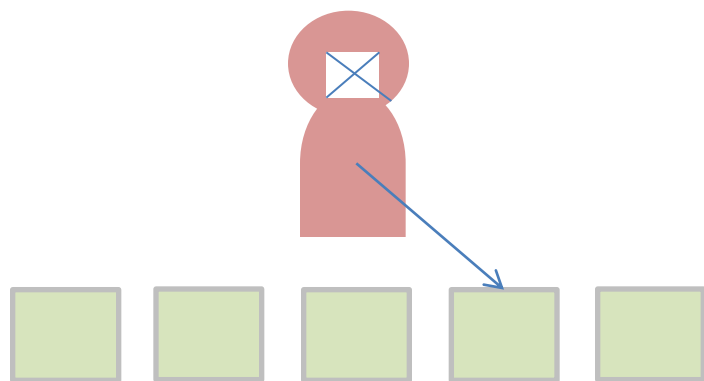
1. 展示パネル設置
2. ボール準備
3. ボールなどの隠し場所
4. いすわりコスチュームフィッティング
5. 演技指導

<当日のながれ>

1. いすわりは20分おきに登場を目安
ずれてもOK

④バイバイお絵かき ～帰りのゲームコーナー～

概要：帰るさいのゲーム。これをやらないと帰れないよ～。森山さんの「震災直後のスケッチ絵」を http://www.em-platform.com/npo/modules/d3forum/index.php?topic_id=11#post_id38 絵葉書にしたものをプレゼント。ただし、ゲームをクリアできたら額入りでプレゼント。フェスティバルの内容のふりかえりにもなりつつ、絵につながるゲームとして実施。



- ①子供が1つのボックスをえらび、その中に入っているものが何かを手で触って考える。
「黙ってマスク」という×マークがついているマスクを着け、喋っちゃいけないよー、という状況を演出する。
- ②子供は答えがわかったら、カードにクレヨンで答えを描く。
- ③親はその絵を見て中身を当てる
- ④その食品が妖怪いすわりをやっつけられるかを答える
- ⑤すべてに正解したら額縁入りをプレゼント！
参加賞としてすべての子に絵葉書はプレゼント。
箱の中身は一定の時間がきたら変える。

<準備>

1. ボックス作成（カラフルに仕上げる）
2. 中身をスーパーに買いに行く（リストはGOさんから）
3. クレヨン、カードをレイアウト
4. 黙ってマスクに「×」しるしを書く（100枚）
5. プレゼントの絵葉書のストックを置いておく場所などを決めておく
6. 箱の中身を何時間単位で変えていくかをシフトにしてまとめておく

【受付など】

- [A] お楽しみ案内
- [B] プレゼントコーナー
- [C] アンケート
- [D] 案内板



【子どもの親が加わる】

- ① 毛糸で不思議の布絵！（参加）
- ② 映像ワークショップ（参加ゲーム）
- ③ 放射能に負けない食べもの～！（作って～食べる）

【子どもだけで遊ぶ】

- ④ 友だち、集まれ～（ゲーム）

【親が学ぶ、子どもと一緒に】

- ⑤ 有用微生物は友だち～！（参加・実演）

【情報提供】

- ⑥ 森山さんのスケッチ展示（展示）
- ⑦ 大分県夜明上町からの激励寄せ書き（展示）
- ⑧ 放射能の恐ろしさ（パネル展示&出し物）

